

今年も残すところあと数日。本当に月日の経つのは早いもので、平成30年も終わろうとしています。NPO 法人まちづくりのむきの会の活動では、エゴマ油の販路拡大のために福井市や東京に出かけ、情報発信をしてきました。テレビ放映の影響で現在でもエゴマ油は大変な人気です。勝山市のふるさと納税返礼品でも、ダントツ1位の人気ぶりです。のむき風の郷の営業も順調に推移してきていますし、国体のおもてなしも大好評でした。

しかし、活動や認知度が増せば増すほど、足元をしっかりと固めていかないといけない、という法人の組織体制やのむき風の郷の運営方法の改善点が明確になってきました。エゴマの生産や地場産野菜の出荷、事務担当者や経理担当者、営業スタッフの不足など、持続可能な運営体制にするために課題は山積しています。町民の皆さん全体の協力体制が不可欠になっています。新しい年も本年に負けなくらいのご支援ご協力をお願いいたします。

さて、先月お伝えしましたジオパーク全国研修会におきまして、NPO 法人まちづくりのむきの会の活動について、参加者の皆さんが話し合いをしてくださいました。その内容を町民の皆さんにお知らせします。

(1)活動の課題

- ①人手不足…高齢化、担い手不足 ②活動が広すぎる(整理が必要)…人が少ないので、中途半端にならないように ③商品をより魅力的に…エゴマをもっと活用！

(2)解決するには…

- ①人手不足 ・NPO法人を活かして、公民館の指定管理者へ→人件費確保、人材確保
 - ・クラウドファンディングで外部の人を当事者に！→人件費確保、人材確保
 - ・体験活動を活かしてお金を落としてもらいながら労働力に！
 - ・野向小児童の意見の尊重→子供から大人まで全員が会員になる→自分ごとに
- ②活動の整理
 - ・現状の活動を活かしながら外部の目線を！→今小学生を対象としている活動を一般向けの体験ツアーに発展→他団体（宿泊・飲食・観光）との連携を密にして、ジオツアーを含めたパッケージ商品の開発へ
- ③商品をより魅力的に
 - ・エゴマをより魅力的なものにする！→一般向けの体験ツアーに発展→エゴマの魅力を外に発信！エゴマの価値をより高める！
 - ・エゴマ商品によりバリエーションを！→お土産用小瓶や贈答用の詰め合わせ 価値を高める商品説明・活用方法の添付→エゴマの魅力を気軽に外に発信！エゴマの価値をより高める！
 - ・エゴマをより魅力的なものにする！→救荒作物であることをしっかりと話す→適地適作、扇状地（滝波川）との関連性 搾りかすを堆肥として、持続的、循環的に利用→ジオストーリーに繋がる
 - ・エゴマをより魅力的なものにする！→研究助成・教育機関との連携→エゴマ油自体の根拠を持たせる 土壌や気候から見たエゴマ→「勝山野向」のえごま ジオパークを活用しよう！！！！

《のむき風の郷営業状況》

(11月1日～11月30日)

◆営業日数 26日 ◆来客数 1,166人 ◆売上高 2,025,561円